

令和 7 年度

西 脇 市 高 校 生 議 会 会 議 録

令和 7 年 8 月 8 日





令和7年度 西脇市高校生議会 会議録目次

1	議事日程	1
2	出席議員	1
3	欠席議員	1
4	説明等のために出席を求めた者の職氏名	1
5	議席図	4
6	一般質問一覧表	5
<hr/>			
7	事務連絡（注意事項）	6
8	市議会議長あいさつ	6
9	高等学校代表校長あいさつ	7
10	開 会（午前9時08分）	7
11	議長開会あいさつ（16番 中川 隆来議員）	8
12	市民憲章朗唱（2番 廣瀬 梨琴議員）	8
13	開 議（午前9時11分）	8
14	日程第1 議席の指定	8
15	日程第2 会議録署名議員の指名	8
16	日程第3 会期の決定	9
17	日程第4 一般質問（15名）	9
	(1) 11番 原田 大雅議員 質問	9
		東野 敏弘議員 答弁 10
	(2) 8番 大隅 光議員 質問	11
		浅田 康子議員 答弁 11
		質問（2回目） 12
		答弁（2回目） 12
	(3) 14番 森口 碧唯議員 質問	13
		高瀬 洋議員 答弁 14
	(4) 15番 上田 陽雅議員 質問	15
		村井 正信議員 答弁 16
18	休 憩（午前9時43分）	17
19	再 開（午前9時55分）	17
	(5) 6番 坂倉 大賀議員 質問	17
		高瀬 洋議員 答弁 18
		質問（2回目） 18
		答弁（2回目） 18
	(6) 16番 中川 隆来議員 質問	19
		杉本 佳隆議員 答弁 20
	(7) 2番 廣瀬 梨琴議員 質問	21

			林	晴信	議員	答弁	…	22	
	(8)	12番	小林	純輝	議員	質問	…	24	
			森脇	久夫	議員	答弁	…	24	
						質問(2回目)	…	26	
						答弁(2回目)	…	26	
	(9)	5番	藤原	来光	議員	質問	…	26	
			村岡	栄紀	議員	答弁	…	27	
20	休	憩	(午前10時33分)				…	28	
21	再	開	(午前10時45分)				…	28	
	(10)	9番	山田	那菜	議員	質問	…	28	
			寺北	建樹	議員	答弁	…	29	
	(11)	3番	徳平	珠一	議員	質問	…	30	
			藤原	桂造	議員	答弁	…	31	
	(12)	13番	上山	友鈴	議員	質問	…	32	
			吉井	敏恭	議員	答弁	…	33	
	(13)	7番	田中	海成	議員	質問	…	34	
			藤原	哲也	議員	答弁	…	34	
	(14)	10番	中澤	帆乃美	議員	質問	…	35	
			高瀬	弘行	議員	答弁	…	36	
						質問(2回目)	…	36	
						答弁(2回目)	…	37	
	(15)	4番	水谷	佳椅斗	議員	質問	…	38	
			坂部	武美	議員	答弁	…	38	
						質問(2回目)	…	39	
						答弁(2回目)	…	39	
22	議長	閉会	あいさつ	(8番	大隅	光	議員)	…	40
23	市議会	副議長	あいさつ	…					40
24	閉	会	(午前11時32分)				…	40	

令和7年度 西脇市高校生議会会議録

令和7年8月8日（金曜日）

* 議事日程

別紙議事日程のとおり

* 出席議員（15名）

2番	廣瀬梨琴	議員（西脇北高等学校2年）
3番	徳平珠一	議員（西脇北高等学校3年）
4番	水谷佳椅斗	議員（西脇工業高等学校3年）
5番	藤原来光	議員（西脇工業高等学校2年）
6番	坂倉大賀	議員（西脇工業高等学校3年）
7番	田中海成	議員（西脇工業高等学校3年）
8番	大隅光	議員（西脇工業高等学校3年）
9番	山田那菜	議員（西脇高等学校1年）
10番	中澤帆乃美	議員（西脇高等学校1年）
11番	原田大雅	議員（西脇高等学校2年）
12番	小林純輝	議員（西脇高等学校2年）
13番	上山友鈴	議員（西脇高等学校2年）
14番	森口碧唯	議員（西脇高等学校2年）
15番	上田陽雅	議員（西脇高等学校2年）
16番	中川隆来	議員（西脇高等学校2年）

* 欠席議員（1名）

1番 道本結斗 議員（西脇北高等学校4年）

* 説明等のために出席を求めた者の職氏名

別紙名簿のとおり

議事日程（令和7年度西脇市高校生議会）

令和7年8月8日
午前9時00分開会

日程	議案番号	件名	提出者
第1	—	議席の指定について	—
第2	—	会議録署名議員の指名について	—
第3	—	会期の決定について	—
第4	—	一般質問	—

西脇市高校生議会議長 中 川 隆 来
西脇市高校生議会議長 徳 平 珠 一
西脇市高校生議会議長 大 隅 光

説明等のために出席を求めた者の職氏名
(令和7年度西脇市高校生議会)

(議席番号順)

職名	氏名	備考
西脇市議会議員	藤原 秀樹	
西脇市議会議員	岸本 年裕	
西脇市議会議員	藤原 哲也	
西脇市議会議員	杉本 佳隆	
西脇市議会議員	森脇 久夫	
西脇市議会議員	藤原 桂造	
西脇市議会議員	高瀬 弘行	広報広聴特別委員会副委員長
西脇市議会議員	吉井 敏恭	副議長 広報広聴特別委員会委員長
西脇市議会議員	村岡 栄紀	
西脇市議会議員	高瀬 洋	議長
西脇市議会議員	東野 敏弘	
西脇市議会議員	坂部 武美	
西脇市議会議員	浅田 康子	
西脇市議会議員	村井 正信	
西脇市議会議員	林 晴信	
西脇市議会議員	寺北 建樹	

議席図

16	15	14	13
中 川 隆 来	上 田 陽 雅	森 口 碧 唯	上 山 友 鈴

12	11	10	9
小 林 純 輝	原 田 大 雅	中 澤 帆 乃 美	山 田 那 菜

8	7	6	5
大 隅 光	田 中 海 成	坂 倉 大 賀	藤 原 来 光

4	3	2	1
水 谷 佳 椅 斗	德 平 珠 一	廣 瀬 梨 琴	道 本 結 斗

質問席

高瀬 洋	坂部武美	村井正信	寺北建樹
------	------	------	------

演 壇

林 晴信	浅田康子	東野敏弘	村岡栄紀
------	------	------	------

杉本佳隆	藤原桂造	吉井敏恭
------	------	------

議 長	局 長
-----	-----

高瀬弘行	森脇久夫	藤原哲也
------	------	------

佐藤校長	藤原秀樹	岸本年裕
------	------	------

議 会 事務局	議 会 事務局	議 会 事務局
------------	------------	------------

令和7年度西脇市高校生議会 一般質問一覧表

(発言通告順)

通告順	質問者	質問内容	答弁議員
1	原田 大雅	西脇市AEDマップの作成案について	東野 敏弘
2	大隅 光	自然を生かして、西脇市への注目を集めたい	浅田 康子
3	森口 碧唯	どんなもんだい童子山！	高瀬 洋
4	道本 結斗	防災アプリと避難確認カードの製作	藤原 秀樹
5	上田 陽雅	西脇市の子育てをしやすく助け合えるものにするための提案について	村井 正信
6	坂倉 大賀	スポーツジム及びランニング施設の整備について	高瀬 洋
7	中川 隆来	クーリングシェルターの見直しについて	杉本 佳隆
8	廣瀬 梨琴	めぐりん増便でHappyなまちへ	林 晴信
9	小林 純輝	JR加古川線西脇～谷川区間の存続について	森脇 久夫
10	藤原 来光	「シアタールーム」設置の可能性について	村岡 栄紀
11	山田 那菜	バス停の屋根設置について	寺北 建樹
12	徳平 珠一	西脇市・多可町の交流人口の増加を目指して	藤原 桂造
13	上山 友鈴	播州織を若者に広めるために	吉井 敏恭
14	田中 海成	子どもたちが自由に遊べる公園・グラウンドの確保について	藤原 哲也
15	中澤帆乃美	西脇市の企業をPRコンテストでバズらせて盛り上げよう！	高瀬 弘行
16	水谷佳椅斗	加古川までの交通インフラの整備	坂部 武美

開会あいさつ（午前9時00分）

○副議長（吉井敏恭君） おはようございます。

本日は西脇市高校生議会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日の高校生議会は、西脇市議会会議規則に準じて行うことといたしますが、議長につきましては、ご出席いただいている生徒さんにできる限り多くの経験をしていただきたいとの思いから、通常の議会運営とは異なり、各学校からそれぞれ1名の方に議長を交代して努めていただきます。また、本日は、傍聴席からの撮影もあらかじめ許可しておりますので、撮影していただいて構いません。

それから、お願いを2点申し上げます。

携帯電話の電源はお切りいただくか、マナーモードに設定してください。また、開会中の私語は慎んでください。

○副議長（吉井敏恭君） それではここで、主催者を代表し、西脇市議会議長の高瀬洋からご挨拶を申し上げます。

○議長（高瀬洋君） 皆さん、おはようございます。西脇市議会議長の高瀬洋でございます。

高校生議会を開催するに際しまして、一言ご挨拶申し上げます。西脇北高等学校、西脇工業高等学校、西脇高等学校の15名の高校生議員の皆様、今日はこの場に出席いただいて、誠にありがとうございます。あと今日に至る中で、いろいろとご指導くださった各校の先生方、そして自分の子供たちを温かく見守っていただきました保護者の方々、誠にありがとうございます。この場を借りまして、お礼申し上げたいと思います。

高校生議会というのは、今年で2回目になります。私見てた感じでも今年は去年よりも、割とスムーズに物事が運んだように感じます。また、この高校生の皆様も、この機会に自分の身の回りの地域の課題等に向き合い、それを発表するという経験は、非常に大切な財産になるのではないかとこの高校生の皆様の中にも何人かは、18歳の選挙権をお持ちの方がいらっしゃるのではないかとと思うんですけども、そういう選挙に向き合う姿勢であるとか、あるいは普段からの、自分の思いを選挙の場で反映するというか、投票するっていう、そういう経験あるいは行為を、この機会を経まして、勉強していただきたいと思っておりますし、何よりも今回西脇市議会の議員と、かなり密に接したわけで、これを機会に、西脇市議会であるとか、あるいは議員の活動であるとか、そういったものに対して、理解を深めていただく機会になりましたら、私も議員は非常に嬉しく思います。

いずれにいたしましても、今日は大きな声で元気よく、自分の意見を発表していただいて、良い発表の場になれば嬉しいと思いますので、半日ではありますがよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。どうも頑張ってください。

○副議長（吉井敏恭君） 次に、高等学校を代表し西脇北高等学校の佐藤校長からご挨拶をいただきます。

○西脇北高等学校長（佐藤 太君） 失礼します。

まずは皆さんおはようございます。

この西脇市議会議長高瀬洋様を始めまして、副議長吉井敏恭様、並びに西脇市議会第5期の議員の皆様、本日は西脇市高校生議会という、この教育、学習、そして探求の場としてふさわしいこの機会を与えていただきまして、改めまして、出場校の校長を代表し、厚く皆様に御礼申し上げます。

この高校生議会は、先ほどもお話がありましたように、昨年度に続き2回目と伺っております。この会の前身は、平成28年度より始まりました高校生版議会報告会と言われ、令和2年度には1度、コロナ禍の中、中止という事態となりましたが、令和5年度、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行しました。その機会に乘じ翌の令和6年度から再開されたと伺っております。中止の期間はありましたが、約10年間にわたるこの会の歴史の中で、地域活性の熱き思いを、高校生に注いでいただきましたこと、我々にとっても、政治そして議会の関心も深まり、西脇市への愛着、そして誇りの醸成など、大きな財産となっていることは確かでございます。

また昨年度の高校生議会、この中では3名の皆さんの意見が市政に反映されたということも伺っております。高校生諸君、本日はいただいたこの貴重な機会、これを充実した時間となるよう、皆さん自身の意見、発表、また、自分自身に対しての自信と誇りを持ち、堂々とした態度で臨んでいただきたい、そのように思っています。

最後になりましたが、この高校生議会がこれからも高校、西脇市にとって、そして実り多き議会となり、長きにわたって続いていきますこと、これを切に祈念いたしまして、甚だ簡単ではございますが、私のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

○副議長（吉井敏恭君） ありがとうございました。

それでは、間もなく開会します。

最初の議長の西脇高等学校、中川隆来さん、議長席に移動願ひます。

開会（午前9時08分）

○議長（中川隆来君） おはようございます。

ただいまから令和7年度西脇市高校生議会を開催します。

私は、本日、高校生議会の最初の議長を務めます、西脇高等学校の中川隆来です。

私たちは、模擬議会を体験することにより、主権者としての権利を理解し、政治や議会への関心を高める機会とするとともに、今、そして、これから私たちがよりよい西脇市づくりのために何ができるか、何をすべきか、しっかり考える機会にしたいと思います。

スムーズな会議の進行に努めたいと思いますので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。

それでは、開議に先立ち、市民憲章を朗唱いたします。

朗唱は高校生議会議員を代表し、西脇北高等学校の廣瀬梨琴議員にお願いします。

○2番（廣瀬梨琴君） 議長、2番。

○議長（中川隆来君） 廣瀬議員。

○2番（廣瀬梨琴君） おはようございます。西脇北高等学校の廣瀬梨琴です。

西脇市民憲章を朗唱いたしますので、皆さんご起立の上、ご唱和をお願いします。

〔市民憲章朗唱〕

午前9時11分 開議

○議長（中川隆来君） これより本日の会議を開きます。

日程に入るに先立ち、出席議員数の報告をします。

本日の出席議員数は15人です。1番、道本結斗議員及び岸本市議会議員から欠席の申し出がありました。

これより日程に入ります。

◎日程第1 議席の指定

○議長（中川隆来君） 日程第1、議席の指定についてを議題とします。

議席は、会議規則第3条第1項の規定により議長が指定します。

議席はただいまご着席の議席をそのまま議席と指定します。

◎日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（中川隆来君） 次は日程第2、会議録署名議員の指名についてを議題とします。

会議録署名議員は、会議規則第87条の規定により、2番廣瀬梨琴

議員、7番田中海成議員及び15番上田陽雅議員を指名します。

◎日程第3 会期の決定

○議長（中川隆来君） 次は日程第3、会期の決定についてを議題とします。

令和7年度西脇市高校生議会の会期は、本日1日限りとしたいと思えます。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日限りと決定しました。

◎日程第4 一般質問

○議長（中川隆来君） 次は日程第4、一般質問を行います。

通告順に発言を許可します。

11番、原田大雅議員の発言を許可します。

○11番（原田大雅君） 議長、11番。

○議長（中川隆来君） 原田議員。

○11番（原田大雅君） 西脇高等学校の原田大雅です。

ただいまから一般質問を始めます。

西脇市AEDマップの作成案について。

私はAEDマップのことについて、提案します。私たちは探求の授業でAEDについて調べていると、AEDを活用することでたくさんの命を救うことができる大切なものだとわかりました。

しかし、いくつかの改善すべき課題もあると考えています。例えばAEDの操作は機械が教えてくれるとはいえ、AEDの操作体験を市民すべての人が、1回は体験しておくべきではないかと考えています。また、AEDの配置場所は本当にそこでいいのかなどの問題、課題もあります。

ですが、今回は、西脇市のAEDマップの作成案について提案します。

私たち学生は、学校内のAEDの場所を覚えている人も多いと思えますが、校外となるとAEDの場所を覚えている人は少なく、万が一必要になっても、素早く取りに行くことができないんじゃないかと考えました。最近ではスマホでもAEDマップを見れるようになっていますが、実際見てみると、白黒のものや、日本全体から探していくものなどもあり、わかりにくく時間がかかったりします。それでは緊急の場合、役に立ちません。

そこで、地域の人、特に高齢者や子供でもわかりやすく、覚えておけるようなAEDマップを作りたいと考えました。AEDマップ

の作成では、西脇市のホームページからすぐに見ることができるもの、そして駅やみらいえなどの人が集まるところに掲示できるものを作りたいと考えました。

次にデザインについてです。例えば簡単なイラストで、地域の特徴を捉えた、地域全体のAEDマップを作り、よく目につくところに掲示しておくことで、万が一のときに素早く位置を確認できたり、思い出すことができ、少しでも命を救うために役立つんじゃないかと考えました。

また、みらいえや学校などで、建物の中のどこにAEDが設置されているのかをわかりやすく書いたマップを、入口などに掲示しておくことで、迷うことなくAEDを見つけることができると考えました。

このような2つのマップを作ることで、万が一、AEDが必要になったときに少しでも命を救うことができたらいいなと考え、西脇市のAEDマップの作成を提案します。

いかがお考えですか。

○東野敏弘議員 議長。

○議長（中川隆来君） 東野議員。

○東野敏弘議員 原田大雅議員の西脇市AEDマップの作成案について、答弁をします。

原田議員もご存じのように、西脇ではAEDが設置されている場所をWeb上ですぐに見れるようにしています。令和7年4月現在、西脇市内に設置されているのは147か所、複数台設置されているところもありますので、設置数は160台です。ただ、議員がご提案のあった高齢者の方や子供でもわかりやすく、覚えておけるようなAEDマップはありません。

AEDは命を救う大切な器具です。ご提案のあった高齢者や子供でもわかりやすく覚えておけるようなAEDマップ、簡単なイラストや地域の特徴を捉えたAEDマップを作成し、駅やみらいえなどの、人の集まるところに掲示できたらという提案は、すばらしい提案だと受け止めています。ぜひ検討したいと考えていますので、原田議員も力を貸していただければと思います。

また、AEDが設置されている施設で、どこにAEDが設置されているのか、すぐにわかるようなマップを入口などに掲示していくことも大事だと思います。各施設の管理者に原田議員の提案を伝えたいと考えています。

西脇市では、医師会有志の皆さんが緊急・救命の講習を開催してくださっています。また、各町で行っている防災訓練の際にもAEDの操作体験をしていただいています。AEDの操作を1度でも体

験をしていただくことで、緊急の対応が必要なときにも慌てずに活用することができます。

今回の原田議員の提案を十分に生かせるようにしていきたいと考えていますので、よろしく願いをします。

- 11番（原田大雅君） 議長11番。
- 議長（中川隆来君） 原田議員。
- 11番（原田大雅君） 以上で一般質問を終わります。
- 議長（中川隆来君） 次は8番、大隅光議員の発言を許可します。
- 8番（大隅光君） 議長、8番
- 議長（中川隆来君） 大隅議員。
- 8番（大隅光君） 西脇工業高等学校の大隅光です。

ただいまから一般質問を始めます。

自然を生かして、西脇市の注目を集めたいについて質問します。

西脇市は人口減少や高齢化といった全国共通の課題を抱えています。市の強みを生かした取組を進めることで、魅力を高めることができると思います。市の特色ある文化、自然、産業などを生かした地域のプロジェクトとして、私は、自然が一番の強みではないかと考えます。私がインターンシップで行った比延地区のへそ公園の前では、キャンプ施設がありました。そこで、市内のキャンプ場を調べてみると、西脇市では、今、木谷山キャンプ場、武嶋キャンプ場、県民広場キャンプ場、奥山キャンプ場、日時計の丘公園オートキャンプ場、日本のへそキャンプ場、中畑林間ファミリー園などがあります。

しかし、今のキャンプ場も変わりつつあります。そのトレンドとして、サウナを取り上げます。そのサウナをキャンプと併合し、新しいグランピング施設を市として作ることがよいのではないかと思います。お考えをお聞きします。

- 浅田康子議員 議長。
- 議長（中川隆来君） 浅田議員。
- 浅田康子議員 大隅光議員の質問にお答えいたします。

大隅議員からは、西脇市の豊かな自然を生かした、その強みを生かして、今トレンドとなっているグランピングを推し進めてはどうか、市としてそのグランピングのできる施設は考えられないかというご質問であったと思います。

議員が調べてこられたように、市内には無料キャンプ場があります。アウトドアの人たちが遠くから来られて利用されているようにお聞きをしております。今のところ、市内にはグランピングの施設はありませんが、日時計の丘オートキャンプ場では、キャンプ場の2区画を1つにして、プレミアムサイトとしてご利用いただいております。

ります。近隣の5市1町では、グランピングの施設が整備されているところはないように思いますが、議員の提案を参考に、本市の状況も見ながら、今後も考えていくことが必要だと考えております。

○8番（大隅 光君） 議長、8番

○議長（中川隆来君） 大隅議員。

○8番（大隅 光君） 西脇市1つでは、できることが限られてしまうので、私は、三木市、小野市、加西市、加東市、西脇市、多可町の5市1町で何か行えるのではないかと考えました。

これまでの連携を調べ、5市1町での北播磨地域ビジョンというのを見つけました。私はこのような機会がなければ知ることがなく、これまでも知りませんでした。そんな現地の私が知らないことを、どう、その他の地域に知ってもらうのか。私はこの5市1町の特徴を示すものが必要で、SNS等で発信するべきだと感じます。

5市1町が協力したプロジェクト、例えばバンドや歌手などが参加し、盛り上げる夏フェス、コスプレや企業ブースなど、様々なサブカルチャーが集まるイベント、コミックマーケットなど、人が来るような取組をすれば、経済効果も見られるのではないのでしょうか。

そのような点で、これから何か大きなイベント、老若男女が楽しめるような、5市1町で取り組むイベントをお考えでしょうか。私は芸人を目指していて、そのようなイベントがあれば、有名になって参加できればなと思っています。

○浅田康子議員 議長。

○議長（中川隆来君） 浅田議員。

○浅田康子議員 ご質問にお答えいたします。

北播磨には、5市1町が1つとした北播磨ビジョンの組織があるので、広域で、夏フェスやコミケっていうらしいですね、コミックマーケット。これらのイベントをすることでにぎわいのある地域になるのではないかと、大隅議員のご提案でございました。

西脇市を含む北播磨地域には、先ほど議員が言われましたように、北播磨地域ビジョン、これは5市1町で組織をされております。県民局が主になって行われている事業なんです、それには地域づくり応援事業や、地場産業、起業支援の取組などが事業として行われております。また、加東市、加西市、西脇市、多可町の3市1町で北播磨広域定住自立圏共生ビジョンという組織では、各自治体の特徴を生かしまして、連携して観光事業やスタンプラリーの事業が行われております。また、一番身近な西脇市と多可町では、北播磨定住自立圏共生ビジョンというのを構成してございまして、1市1町で北はりま田園空間博物館、一般に言われるでんくうとか、播博、播州織博覧会という事業とか、もっぺんという事業を開催してござい

す。

議員の思いは、こういった事業とは異なる思いで今日ご提案いただいていると思うんですが、一味違った今までにはないイベントのご提案かと思えます。今後、季節やテーマごとに集客できる取組を、若い人たちと一緒にあって、意見を聞きながら考えていく機会が必要であると考えます。5市1町という大きな括りも大事やと思うんですけども、1市1町、3市1町でもまた取り組んでいきたいと、そういうような思いでおります。

以上で答弁を終わります。

○8番（大隅 光君） 議長、8番。

○議長（中川隆来君） 大隅議員。

○8番（大隅 光君） 以上で一般質問を終わります。

○議長（中川隆来君） 次は14番、森口碧唯議員の発言を許可します。

○14番（森口碧唯君） 議長、14番。

○議長（中川隆来君） 森口議員。

○14番（森口碧唯君） 西脇高等学校の森口碧唯です。

私は、どんなもんだい童子山！をテーマに、ただいまから一般質問を始めます。

私たちは童子山の整備について提案します。私たちは春の遠足を高校2年生で童子山公園を訪れた際に、気になったことがいくつかあります。まず、展望台に行くにつれて、整理されていない雑草が目立ち、景観だけでなく、安全性にも欠けていました。また、遊具やトイレが目立たないところに置いてあったり、汚れや塗装の剥がれが目立ちました。私の友人が犬の散歩をしている際にも、子供の数が減ってきていると感じたそうです。

童子山公園の整備のメリットとして、1つ目は童子山公園の環境が整い、使いやすい場となって童子山公園に訪れたい人が増えることです。またきれいだともう1回訪れたいという人が増え、童子山公園の持続につながります。2つ目は最近増えてきている子供の遊び離れが解消されることです。整備した土地で遊ぶことで、子供同士の交流だけでなく、地域の交流も広げることができます。

次に童子山公園の整備をする際のデメリットとして、費用と人手がかかることです。なので、すべてを整備するのではなく、人が来そうなところを整えたり、費用に関しては、クラウドファンディングやふるさと納税を活用して集めることができます。人手はボランティアのチラシやポスターを作って集めたり、西脇の学生を大いに使うといいと思います。ボランティア活動によっていろんな人と関わる機会が増え、また地域の交流につながります。

私は、童子山は広い土地で老若男女が楽しめ、古くてもこれだけ

魅力があるので、ぜひ存続させたいと思っています。なので、クラウドファンディングなどを使って童子山公園を整備してほしいと考えているのですが、どうお考えですか。

○高瀬 洋議員 議長。

○議長（中川隆来君） 高瀬洋議員。

○高瀬 洋議員 森口碧唯議員の質問にお答えします。

まず、西脇市のシンボルともいえる童子山に高校生の皆さんが関心を持っていただいていることに感謝いたします。

平成28年度には、西脇区の各町から選出された約20名による童子山公園整備検討委員会が発足し、3回の委員会を経て、平成29年1月に、公園利用者の声を取り入れた童子山公園整備計画図をまとめました。この計画図には、しばざくら花壇の移植、野鳥ゲージの現状維持、複合遊具施設の移設、排水池跡地の芝生広場整備、展望台や園路・照明灯の改修。さらには勤労福祉センターの撤去と、駐車場整備など、多岐にわたる整備内容が盛り込まれています。2021年度には勤労福祉センターの解体工事とあわせ、駐車場整備を行い、西脇区の住民の皆さんによって、生活文化総合センター、ドウジアムですね、前にしばざくら花壇を移植いたしました。ここ数年は、公園利用者の安全・安心を最優先に考え、西脇市公園設備長寿化計画に基づき、園路や照明の改修を行うほか、樹木の間伐なども進めています。

リニューアルの中心となるのは、排水池の撤去と芝生広場化、展望台の改修、そして複合遊具施設の移設などになると考えます。今年からは西脇区まちづくり委員会が童子山公園リニューアルに関する調査を開始しており、美化活動も年5回実施されています。市と西脇区、そして一般財団法人住民サービス公社が連携しながら、公園の維持管理を進めています。

改善指摘のあるトイレについてですが、童子山公園の山の部分には、東屋に男女共用の洋式トイレが1つと、排水池と屋外ステージの間ぐらいのところに1か所トイレがあります。こちらは男女別の洋式トイレですが、周りの樹木が成長して高木になっているため、トイレが目立ちにくく感じられたのではないかと思います。恐らくご指摘のトイレは、このことだと思いますが、このトイレや複合遊具施設の移設や改修、そして展望台に通じる園路の補修は、排水池の撤去と芝生化に合わせて実施することになると思います。配水池は現在立ち入り禁止となっていますが、安全面を考えると、いつまでも、今のままにしておくことはできないというふうに思っています。

最後に、クラウドファンディングの活用についてですが、童子山

の改修は長期にわたって段階的に進めているため、クラウドファンディングには少々馴染まないのではないかというふうに考えています。ただし他地域での事例も調査し、今後の参考にしたいと思っています。

以上、答弁とさせていただきます。

○14番（森口碧唯君） 議長、14番。

○議長（中川隆来君） 森口議員。

○14番（森口碧唯君） 以上で一般質問を終わります。

○議長（中川隆来君） 次は、1番、道本結斗議員の通告順位ではありますが、本日欠席のため、会議規則第50条第4項の規定に基づき通告順位を繰り上げます。

次は15番、上田陽雅議員の発言を許可します。

○15番（上田陽雅君） 議長、15番。

○議長（中川隆来君） 上田議員。

○15番（上田陽雅君） 西脇高等学校の上田陽雅です。

ただいまから一般質問を始めます。

西脇市の子育てをしやすく、助け合えるものにするための提案についてというテーマで質問します。

私は探究という授業の中で、西脇市の子育て支援について調べており、母子向け支援の教育訓練の給付金や、児童手当であったり、児童向け支援である保育園利用無料というようなことをしているということを知りましたが、近年では共働きの家庭が増加しており、昼は保育園などに小さい子供を預けることができますが、午後7時以降になると、大体の保育園も預かってくれなくなり、片方が7時までに帰ることができたとしても、育児がワンオペになり、ストレスにつながってしまう可能性や、7時までに、お父さんもお母さんも帰ることができない日があったりするという可能性がある現状があります。

実際、私の家庭は父が運送業をしており、母が会社で働いているというような共働きの環境であり、父は深夜帯に仕事に行ってしまうため、母がほぼワンオペで育児をしなくてはならず、夜泣きであったり、育児で大変な日々だったという話を聞いたことがあります。また、はびいくサポートセンターのほうでも、夜泣きであったり夜間の子供の育児について相談を受けていたりもするので、夜泣きなどによって大変な家庭が少しでもなくなるように、夜間でも頼むことができる、トワイライトステイなどを行ってくれる、夜間の保育園といった、深夜から朝まで子供を預かってくれるような施設を建設するといった検討をしていただきたいと考えています。

そして、みらいえのこどもプラザなどで親子の交流会が行われて

いますが、全家庭が参加しているわけではないため、育児相談や子育て支援サポートに比べて認知度が低いのではないかと思います。また、もっと多くの家庭の親子が交流会に参加してくれれば、親同士の仲も深まり、子供たちの中も深まることで、今よりも助け合いながらの子育てがやりやすくなるのではないかと考えます。ですので、子供や親の交流会があるということ、ある程度知名度があり、信用できるインフルエンサーの方に、西脇市の魅力の1つとして紹介してもらうことや、市内で小さい子供がいる家庭に、西脇市で取り組んでいる交流会の様子を写真入りのチラシとして配布するというような検討をしていただきたいと思います。

以上です。

○村井正信議員 議長。

○議長（中川隆来君） 村井議員。

○村井正信議員 それでは、上田陽雅議員の一般質問にお答えをいたします。

上田議員の質問の趣旨は、以下の2点と考えます。1つは、夜間における子供の預かり、2つ目は、親子交流教室のPRを積極的に行うこと。この2点であります。

まず第1点目の夜間における子供の預かりについてですが、現在、こども園・保育園の閉所時間は最大午後7時30分までです。夜間の子供の預かりは産後1年間までの乳児については、助産院での宿泊が7日間、1歳を超えた児童に対しては、短期間の場合は里親さんでの預かり、長期の場合は児童福祉施設の預かりとなっています。そして夕方から深夜まで預かるトワイライトステイ制度は、県内では明石市だけですが、近畿地方では予算規模の小さい町でも取り組まれています。西脇市の半分の予算規模の町でも取り組まれているところがあります。

西脇市長は令和5年に、妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援する「こどもまんなか応援サポーター宣言」をしています。トワイライトステイ制度は、市として実現に向けて努力すべき制度であり、私も努力をしたいと考えています。

次に、夜から朝まで子供を預かってくれる施設の検討についてです。西脇市の現状は、例えば夜泣きなどでお母さんがなかなか寝られない場合などは、医療機関への宿泊を紹介します。西脇市の場合はいわた、女性のクリニックというのはそこで、西脇ではあるそうです。それで例えば夜泣きなどでお母さんがなかなか寝られない場合などは、医療機関への宿泊を紹介しますが、宿泊の実績としては、令和5年度で2人が5日間、令和6年度では5人で24日間、令和7年度の4月から6月では7人で17日です。上田議員

は預かり施設の建設を求められていますが、施設の建設は困難性がかなり高いと判断します。むしろ、まずは利用者への利用のハードルを下げていくために、広く一般市民に産後ケアの大切さと、そのための制度の理解を得るためのPR活動が重要と考えています。

次に、親子交流教室のPRを積極的に行うことということですが、親子交流教室はゼロ歳から1歳児対象が19組、2歳児対象が15組、3歳児対象が13組、そして小学校低学年対象が39組参加されています。グループごとの交流教室が月1回と、合同の教室が月1回の合計2回開催されています。親子交流教室のPRは、まず子育て新聞である月刊「ことのは」900部を市の関係施設17か所と、こども園8園に置いています。そして西脇市のLINE登録者に毎月掲載しています。そして西脇市のホームページに掲載していますのと、子育て応援アプリに掲載しています。そして交流教室利用者がインスタグラムを利用してPRされています。

これらはいずれも写真を掲載しており、広くPRしていると考えられます。上田議員は民間人のインフルエンサーへの協力依頼を提案されています。この課題は、市のPR方法の在り方を基本から考えることとなりますので、今後の検討課題としたいと考えています。

以上、答弁といたします。

○15番（上田陽雅君） 議長、15番。

○議長（中川隆来君） 上田議員。

○15番（上田陽雅君） 以上で一般質問を終わります。

○議長（中川隆来君） ここで議長交代のため、暫時休憩します。再開は午前9時55分とします。

午前9時43分 休憩

午前9時55分 再開

○議長（徳平珠一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長に就任しました西脇北高等学校の徳平珠一です。

不慣れではございますが、皆様方のご協力をいただき、円滑な議事運営に努めて参りますので、よろしく申し上げます。

6番、坂倉大賀議員の発言を許可します。

○6番（坂倉大賀君） 議長、6番。

○議長（徳平珠一君） 坂倉議員。

○6番（坂倉大賀君） 西脇工業高等学校の坂倉大賀です。

ただいまから一般質問始めます。

スポーツジム及びランニング施設の整備についてというテーマで質問を始めます。

西脇市内には健康増進や運動習慣の定着を目的としたスポーツジ

ムやランニング施設が非常に限られており、高校生からも運動をする場所が少ない、気軽にできる施設が欲しいといった声が多く寄せられています。特に若者から高齢者まで幅広い世代が利用できる施設の整備は、健康寿命の延伸や地域コミュニティの活性化にもつながると考えます。

そこで以下の点について質問いたします。西脇市内では若者から高齢者まで幅広い世代が、筋トレやランニングのような運動を行うことができる施設はありますか。

○高瀬 洋議員 議長。

○議長（徳平珠一君） 高瀬洋議員。

○高瀬 洋議員 坂倉大賀議員の質問にお答えいたします。

西脇市内でスポーツジムが設置されている公共施設は、市民交流施設と総合市民センターの2か所になります。市民交流施設では、うごくスタジオと呼んでいるスペースにフィットネスバイク12台、ランニングマシン3台など、多数のトレーニング機器が設置されています。中学生以上であれば利用でき、利用料金は2時間ごとに200円となっています。一方、総合市民センターにはトレーニングルームがあり、筋力トレーニング用マシンを中心に、17台の機器が設置されています。こちらは、どなたでも利用可能で、高校生以上であれば、料金は1時間毎に130円となっています。

以上です。

○6番（坂倉大賀君） 議長、6番。

○議長（徳平珠一君） 坂倉議員。

○6番（坂倉大賀君） 高校生はみらいえをよく利用しています。みらいえの施設内にスポーツジムのような運動ができる空間を作ることとは可能でしょうか。

○高瀬 洋議員 議長。

○議長（徳平珠一君） 高瀬洋議員。

○高瀬 洋議員 お答えします。

市民交流施設のうごくスタジオは、フレイル予防や生活習慣病の予防を目的とした健幸運動教室、N i - C oのコンセプトのもと、室内でも気楽に運動ができるよう器具がそろえられています。総合市民センターでは、体育館や武道館で行われるバレーボール、バスケットボール、バドミントン、柔道などのスポーツ活動を支えるために、基礎体力づくりを目的としたトレーニングルームが設置されています。

このように、2施設ともそれぞれの役割に応じた設備が設けられているのが特徴です。一方、みらいえは「人つどい、人つながり、人はぐくむ、交流の場」をコンセプトに、児童館、男女共同参画セ

ンター、図書館、コミュニティセンターを機能とする施設で、スポーツジムのような運動を行うことを想定した施設ではありません。前述しましたように各施設は、それぞれの目的達成に必要な設備が設置されています。今回いただきました、みらいえにスポーツジムをとということについては、目的等と趣旨が合わないことから、適切ではないというふうに考えます。

なお、民間スポーツジムは市内いくつかございまして、西脇市駅近郊、あるいは和布町などにあります。サポーターが手厚いかどうかにより料金には幅がありますが、1回の利用が550円程度から利用できます。

以上、答弁とさせていただきます。

- 6 番（坂倉大賀君） 議長、6 番。
- 議長（徳平珠一君） 坂倉議員。
- 6 番（坂倉大賀君） 以上で一般質問を終わります。
- 議長（徳平珠一君） 次は16番、中川隆来議員の発言を許可します。
- 16 番（中川隆来君） 議長、16 番。
- 議長（徳平珠一君） 中川議員。
- 16 番（中川隆来君） 西脇高等学校の中川隆来です。

ただいまから、クーリングシェルターの見直しについて一般質問を始めます。

昨年は、本市において最高気温39.5度を3度記録しており、さらに今年は梅雨の期間が短く、例年に比べて早く夏が来て、暑い時期がより一層長くなるのではないかという懸念の声が上がっています。私自身も、毎日の自転車通学で夏の暑さを文字どおり痛感しています。

日頃車を運転している方々のご存じであられるでしょうか。小学生、特に低学年の子供たちは、毎日およそ20～30分もの間、炎下のもとを歩いて登校しているのです。私はこの光景を見てクーリングシェルターという施設に着目して調べてみました。その結果、いくつかの課題を発見しました。1つは、西脇には市によって指定されているクーリングシェルターがドウジアム、オリナス、みらいえ、そして隣保館を合わせて7つあるのですが、私はしばざくら通りで民間によって運営されているクーリングシェルターを見かけたことがあります。この場所以外でも、民間によって運営されている施設はあるのでしょうか。また、それらは郊外でも見られるのでしょうか。西脇市の小学校は様々な地域にあるので、多めにあって損はないと思います。

そしてもう1つ、以前私が友人や近所の人々にクーリングシェルターについて使っているか尋ねたとき、利用している人は少ないよ

うに思いました。私はこのことを踏まえて、ポスターや立て看板を作成して、積極的に周知されていくべきだと考えました。

このことについてお尋ねします。

○杉本 佳隆議員 議長。

○議長（徳平珠一君） 杉本議員。

○杉本 佳隆議員 中川隆来議員の質問にお答えをいたします。

今回の質問は、現在の厳しい暑さの中での対策として大變的を射た大切なご指摘だと受け止めております。

先日、西脇市では最高気温40度を記録するなど、猛暑の深刻さが改めて浮き彫りになりました。まず、ご質問にありました、本市が取り組んでいるクーリングシェルターと、民間によるクールオアシス事業についてご説明いたします。

クーリングシェルターとは、市町村が冷暖房などの一定の基準を満たす施設、例えば公民館や図書館などを指定し、暑さから身を守る避難場所として、誰でも利用できるよう開放するものです。西脇市においても、学生の下校時の暑さ対策や高齢者など、熱中症リスクの高い方々の安全確保に大切な役割を果たしています。近年、熱中症警戒アラートという言葉がニュースなどでよく耳にするようになりました。このアラートは暑さ指数という指標に基づいて発表されております。さらに最近ではより強い注意喚起が必要な場合に、熱中症特別警戒アラートも発表されるようになっております。具体的には熱中症警戒アラートは暑さ指数が33以上のとき、熱中症特別警戒アラートは35以上のときに発表されます。ただし、実際には気温が40度を超えていても、この特別警戒アラートが発表された例はまだありません。国の基準では特別警戒アラートが発表された場合は、指定されたクーリングシェルターを必ず開放することが義務づけられております。

中川議員の発言のとおり、西脇市でクーリングシェルターとして指定されている施設は、今年度は開始の令和7年4月23日の時点では3か所で行いました。ドウジアム、オリナス、みらいえ、そして昨年よりもさらに暑さが厳しくなっていることを受けて、本年7月30日、新たに次の4つの施設が追加指定されました。大野隣保館、芳田ふれあい館、隣保館上野会館、黒田庄隣保館となります。

次に民間によるクールオアシス事業についてご説明いたします。西脇しばざくら通り商店会協同組合では、「こどもまんなか」というキーワードのもと、暑さから子供たちの命と健康を守るため、自主的に涼める場所をクールオアシスとして開放されております。この取組は、現在のところ、本市ではこの商店会が唯一の実施例でございます。なお、市が民間事業者の皆様からクーリングシェルターと

して、協力をお願いする際には、国の定める基準を踏まえ、利用時間や座席数などの条件を示した上で協定を結ぶ必要があります。協定を結んだ場合には、特別警戒アラート発表時に店舗を開放していただくことも想定されます。そのため市としては、こうした民間の取組を支援し、応援していく立場をとっております。

また、周知の方法については次のように行っております。公共のクリーニングシェルターについては市のホームページ、SNS、防災行政無線等で情報提供を行っております。民間のクールオアシスについては、昨年度は各店舗にポスターを掲示し、今年度はさらにのぼり旗を設置して、より多くの方に知っていただけるよう努めておられます。なお、のぼり旗につきましても、現在のところ、西脇しばざくら通り商店会協同組合の名前のみとなっており、クールオアシスのお店などの具体的な表示はされておられません。今後は、より多くの市民にわかりやすく伝わるよう周知の工夫が必要であると考えております。引き続きこの課題に注視し、必要な対応を検討して参りたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○16番（中川隆来君） 議長、16番。

○議長（徳平珠一君） 中川議員。

○16番（中川隆来君） ありがとうございます。以上で一般質問を終わります。

○議長（徳平珠一君） 次は2番、廣瀬梨琴議員の発言を許可します。

○2番（廣瀬梨琴君） 議長、2番。

○議長（徳平珠一君） 廣瀬議員。

○2番（廣瀬梨琴君） 西脇北高等学校の廣瀬梨琴です。

ただいまから、めぐりん増便でHappyなまちへをテーマに一般質問を始めます。

西脇市にはたくさんの学校が集中して建っています。私は野村町に住んでいますが、登下校の際、たくさんの学校の方が同じ時間帯に自転車や徒歩で通ります。加えて、西脇市には坂道も多いため、1度自転車で下ると勢いがつき、登ってくる生徒とぶつかりかけることもあります。普通なら真っすぐに通れていたはずの道も1つの道に生徒が密集しているため、よろけてしまい、事故につながる可能性も出てきます。

そこで、西脇市内で通っているめぐりんバスの便を通学時間帯のみ増やすことを希望します。以前、雨の日めぐりんバスを利用しようとした際、満員で乗れなかったことがあったり、乗れたとしても、高齢の方に学生ばかり乗っていて、気分が悪いと嫌な目で見られることがありました。ですが、今までより多くバスが通ること

利用者が増え、歩道が開かれ、生徒以外の人も通りやすくなります。また、自転車や徒歩での登下校は、夏場はとても暑く、熱中症や脱水症によって倒れている生徒も見かけたことがあります。ですが、日のもとにいる時間を減らすことができる手段を増やす目的としても、バスの増便は有効だと思います。

以上のことから、めぐリンバスの増便を強く希望し、これを提案します。

○林 晴信議員 議長。

○議長（徳平珠一君） 林議員。

○林 晴信議員 廣瀬議員のご質問にご答弁します。

まず最初に、日常生活といいますか高校生活でね、日々感じる気づきをこうやって市政に対する質問とか、それから提案に変えていただけただけのことってというのは大変すばらしいことだというふうに思っております。

答弁の方に入りますが、こういう事業の場合、2つ視点ってのは必要なんですね。1つにはコスト、もう1つに需要と供給のバランス、これ需給バランスといいます。これかけ合わせたものを、コストパフォーマンスといいます。よく多分廣瀬議員も日常で使われているコスパがいいとかコスパが悪いついていうのはこのかけ合わせなんですね。コストの面で見ますとめぐリンを1台増便するのに、1,400万から1,500万円、年間にかかるんですね。これに初期投資にワゴンバスを買うのに約700万円というお金が必要になってきます。これはコストの問題ですね。

今度、需給のバランスの問題なんですが、めぐリンの平均乗車人数というのは1便当たり4.4人です。大体1台に1周の間に4人から5人、平均乗ってるということなんですね。廣瀬議員がおっしゃってる朝の便、これ確かに非常に多くありまして、直近の5月ですと平均9.3人、6月でしたら、10.2人乗ってるんですね。一番やっぱり多いんです、時計回り便がね。多分乗ってる便やと思います。その中で多分雨の日に乗れなかったことってというのがたまたまあったのかなというふうに思うんですが、ただね、市の方に聞いてみますと、これ運営されてるのはウイング神姫っていうところが運行委託されてるんですけども、そちらの方から積み残しっていうね、乗れなかったよという報告は、届いていないということです。たまたま、1回か2回あったのかもしれませんが、それほど頻繁にあるわけではないだろうなというふうには思っておりますので、その辺から考えますとね、なかなか増便っていうのは非常に難しいな。加えてね、めぐリンだけじゃなくっておりひめバスも朝は市駅から西高のところまでいってるんですね。だから朝は2便、実は走ってるんで

す。そういった面もありますからなかなか難しいなというのが1つあります。

ただね、この間今週の月曜日にこの議員さんみんな集まって、全員の質問に対する答弁をああでもないこうでもないといろいろ話したんです。その中で、廣瀬議員の提案をどう生かそうかということで、朝の便だけめぐリンのバスと、それからもう1個あるおりひめのバス、これおりひめのバスっていうのは26人乗りなんです、めぐリンのバスってのは10人乗りです。それ替え事して、その便だけ交代したらどうだろうっていう話がある議員から出たんで、そういう手もあるよなと思って、ちょっと調べてみたんです。そうしますとね、おりひめバスもその時間帯に走ってるバスが一番多く乗っていて、日によって違うんですが6人から27人乗ってるんですよ。ということはおりひめのバスとめぐリンのバスを交代させるっていうことはやっぱり難しいなということが思いました。ただ今後このめぐリンの利用者がどんどん増えてくると、今のワゴンから26人乗りのバスに、車体を変更するということは当然あると思いますし、それ以上乗ってこられると増便っていうことも、今後としてはあると思います。プラス、今、我々の議会の中の総務産業常任委員会、私も入ってるんですけども、そこはね共助型のライドシェアっていうことを今研究してます。これは市民の方が自分の車を使って有償運行、基本的には高齢者とかそういう交通弱者をね、送迎するようなことが全国で始まってますんで、そういうことって西脇でもできないかということ今研究中です。ちょっと廣瀬議員が卒業するまでには間に合わないかもしれないんですけどね。そういうことも考えているんです。

だから、まず一番はめぐリンに乗ってもらうようにぜひ廣瀬議員も、ご家族の方とかあるいは友人の方に勧めてください。こういったものっていうのは利用すればするほど、便利になっていきます。逆に利用しなければしないほど不便になっていくもんなんです。だからぜひ、これを利用を勧めていただいて、そして西脇市も今進めています、歩いて暮らせるまちづくりということに、ご協力を賜りたいと思います。

最後になりますけども、こういった日常とか高校生活でのいろんな気づきをまたいろんな機会に、議会の方に言っていただきたいと思います。議員に直接言うはしんどいと思います。ぜひ、佐藤校長先生に言ってもらったら、それから私の方に来ますんで。これは北高だけじゃなく西校も工業もそうですよ、気づいたことは、ぜひ議会の方に届けていただきたいと思います。私の答弁とさせていただきます。

- 2 番（廣瀬梨琴君） 議長、2番。
- 議長（徳平珠一君） 廣瀬議員。
- 2 番（廣瀬梨琴君） 以上で一般質問を終わります。
- 議長（徳平珠一君） 次は12番、小林純輝議員の発言を許可します。
- 12番（小林純輝君） 議長、12番。
- 議長（徳平珠一君） 小林議員。
- 12番（小林純輝君） 西脇高等学校の小林純輝です。

ただいまからJR加古川線西脇から谷川区間の存続について質問します。

私は黒田庄という町に住んでいます。西脇高校には自転車では距離が遠く時間もかかってしまい、また、電車では学校に間に合わない、もしくは早く着き過ぎてしまうという現状で、雨の日などは、親の車による送迎で通学しています。西脇高校では、自力での通学が勧められていますが、現状では時間的・身体的な面からそれが難しいという状況にあります。

そこで私が提案するのは、西脇市駅から谷川駅間の運行時間の見直しについてです。具体的な案としては、黒田庄駅でのすれ違いを復活させ、本数を増やすというものです。現状では西脇工業高校は電車を利用して間にも合いますが、もう少し距離が離れている西脇高校では、徒歩では間に合わず、自転車を利用すると間に合いますがぎりぎり、雨の日のことを考えると、もう少し早いダイヤがあると利用しやすいです。なので、西脇市駅に到着する時間があと10分程度早ければ、高校の通学時間に余裕を持って間に合うことができ、それにより利用者も増えると予想しました。

また、現在は通学定期の全額負担や自転車の貸出などの制度、めぐリンバスなどがありますが、すでに利用している人にとって便利なものとなっているのみで、その影響で乗客が増えているとあまり感じません。もちろんそれも大事なことです、本質問の乗客の増加にはリンクしておらず、なので根本的に時間が学生の利用者に添えていないのではないかと考えました。私がこの提案をする狙いは、利用者の増加はもちろん、その中でも学生に着目し、利用を促すというものです。高校生は年齢や校則により車を運転することがほとんどできないので、よく公共交通機関を利用します。そこを軸にしてみると、より利用者が増えるのではないかと考えます。

以上です。

- 森脇久夫議員 議長。
- 議長（徳平珠一君） 森脇議員。
- 森脇久夫議員 西脇高校、小林純輝議員のご質問にお答えいたします。

現在西脇市では、JR加古川線西脇市駅から谷川駅間の利用促進のために、複数のメニューを用意し、乗客を増やして、JR加古川線を次の世代に引き継いでいこうと取り組んでいるところです。

その1つが、高校生の通学利用です。通学定期券代のうち、西脇市から谷川の間の利用区間にあたる部分を、昨年度は半額でしたが本年度は全額補助していて、今年度の電車通学者は、昨年度よりも増加しているというふうに聞いています。加えて、定期代補助を受けている人に対して、駅から先の移動に使う自転車の無償貸出も行っています。

まず、運行時間の見直し、ダイヤの見直しについてです。私が通学していた頃のダイヤは、今の西脇市駅への到着時間は8時ちょうど頃で、徒歩でも西脇高校の始業に十分間に合っていました。朝の通学で利用される今のダイヤを10分程度早くできれば解決するでしょうが、電車は乗換駅での乗継も重要で、関係する谷川駅での乗換電車の運行ダイヤを見ると、現状での変更は難しいだろうというふうに思います。私が通っていた頃の福知山線側の乗換ダイヤと変わっているようです。もし、西脇高校に合わせると、福知山線利用で通学、通勤されている方に影響が出ることが想定されます。そのため、現状ダイヤでも通学定期代補助と、駅から先の移動に使う自転車の貸出は電車通学を選びやすくするものだと思います。また、雨天時の自転車利用が大変であれば、終着場所が西脇高校になったおとりひめバスの利用でカバーするというのはどうでしょうか。これも、西脇高校と西脇工業高校に通う電車通学生をサポートする施策となっていますので、ぜひ活用いただければというふうに思います。

次に、黒田庄駅でのすれ違いを復活させ、本数を増やすというご提案についてです。このすれ違いがあったころは、1日15往復程度の列車運行がありました。朝の時間帯にも、もう1本は列車があったので、通う高校によって利用する列車が異なっていたように記憶しています。私も、電車の利便性向上のためにぜひ復活してほしいと願っていますが、それも利用者の増えることとの兼ね合いになるというふうに思います。

高校生など自動車運転免許をまだ持っていない人、運転免許証を返納された高齢者などの移動には、公共交通は欠かすことができないものです。西脇市でも公共交通についての考え方をまとめています。JR加古川線はどちらかというと、遠地とつなぐ、その役割としています。観光やレジャー、グルメなど、市外からの誘客のための施策も大切ですが、通学通勤、買い物や通院など日常生活での利用につながる仕掛けも重要だと思います。今後そういったことも検討し、黒田庄駅のすれ違い設備の復活につながり、便利なダイヤが

実現できるよう、私自身も知恵を絞って取り組もうというふうに考えています。

最後に皆さんへのお願いになります。利用者の声というのは最も重要なものです。ぜひ、若い皆さんには、使うから便利なダイヤにしてと、何か機会があるごとに発信をしていただきたいというふうに思います。それが、ご質問のタイトルにあるJR加古川線西脇市から谷川間の存続につながるからです。

以上答弁といたします。

○12番（小林純輝君） 議長、12番。

○議長（徳平珠一君） 小林議員。

○12番（小林純輝君） 再質問になります。

私たちからも便利なダイヤにしてほしいとの発信を、との答弁でした。そういったことでは、今の加古川線は倒木などでの遅延や運休があって利用に迷うこともあります。何か対応ができないものでしょうか、お聞きします。

○森脇久夫議員 議長。

○議長（徳平珠一君） 森脇議員。

○森脇久夫議員 再質問ありがとうございます、お答えいたします。

倒木による遅延などはご指摘の通りで、何らかの対策ができればというふうに私自身も思います。実は先月30日の夕方、黒田庄と日本へそ公園駅の間で電車と倒木の接触事故がありました。その電車で私自身も乗っていて、復旧まで1時間半電車の中で待ちました。新聞報道でも出ているんですが、JR加古川線の維持・利用促進にかかわる会議において、西脇市の片山市長は、安全運行の支障となる倒木に、JR西日本からの情報提供を受けて、自治体や住民が対策に協力する新たな提案を行い、検討を求めています。相手のあることで、現時点で決定した内容はないようですが、市として課題意識を持って取り組んでいるところです。

以上で答弁とさせていただきます。

○12番（小林純輝君） 議長、12番。

○議長（徳平珠一君） 小林議員。

○12番（小林純輝君） 以上で私の一般質問を終わります。

○議長（徳平珠一君） 次は5番、藤原来光議員の発言を許可します。

○5番（藤原来光君） 議長、5番。

○議長（徳平珠一君） 藤原議員。

○5番（藤原来光君） 西脇工業高等学校の藤原来光です。

ただいまから一般質問を始めます。

シアタールーム設置の可能性について質問します。

西脇市には映画館がなく、映画や映像に気軽に触れる機会が少な

いと感じています。また、若者や市民が友人や家族と集まり、映画鑑賞やパーティー・ゲームなどの娯楽を通じて楽しめる場も限られていると思います。こうした中で、市民交流施設オリナスなどの既存施設を活用し、映画の上映やイベントができるシアタールームのような多目的な空間を整備することは、若者や市民にとって身近で楽しい場所づくりになると考えます。特に若者が地元での時間を楽しめるようになることで、西脇に対して前向きな気持ちを持ち、将来的にも関わり続けたいと思えるきっかけになる可能性もあると思います。著作権等の課題はあるかもしれませんが、上映権付作品の活用や、自主制作映像の上映など、工夫次第で実現できるのではないのでしょうか。

このようなシアタールームの設置の可能性について伺います。

以上です。

○村岡栄紀議員 議長。

○議長（徳平珠一君） 村岡議員。

○村岡栄紀議員 藤原来光議員の質問にお答えします。

かつて西脇市には5か所もの映画館があり、大いににぎわっておりました。子供の頃の私にとって映画館は夢のような憧れの場所で、カメラ対ギャオスやオール怪獣大進撃など人気の映画に、わずか数回だけですが、亡き父親に連れて行ってもらった記憶が嬉しくて楽しかった思い出として、今でもよみがえります。しかし今から18年前に西脇大劇という最後の映画館が消えてから、残念ながら西脇市には映画館がありません。

今回、藤原議員から、若者や市民にとっての楽しい場所づくりとして、オリナスなど公的施設へのシアタールーム設置の提案が行われました。次第に進む人口減少やまちの過疎化、このままではだめだと言わんばかりに、シアタールームを設置してまちおこしのスポットにしようという、藤原議員の熱い思いが伝わってきます。そこで、実際に丹波市にある映画館に行ってお話も聞いたりする中で感じたのは、シアタールームが設置できれば、映画上映会や講演会、ワークショップなど多目的に活用することにより、地域住民の文化・教育活動を活性化させることができるとともに、映画鑑賞やスポーツ観戦など、地域住民に娯楽を提供し、生活の質を向上させることができます。またシアタールームをイベントスペースとして活用することで、地域住民間の交流を促進することができたり、地域情報の発信や防災訓練など、地域住民に必要な情報を発信する場としても活用できたりするのではないのでしょうか。

しかし、シアタールームの設置には、プロジェクター、スクリーン、音響設備、防音設備など、多額の費用がかかるとともに、既存

の施設にシアタールームを設置する場合は、適切な広さの場所を確保する必要があります。また、誰でも利用できるようにするのか、特定の団体に限定するかなど、利用方法を検討する必要があるとともに、シアタールームの運営・管理体制を確立する必要や、電気代、メンテナンス費用など、維持費がかかるといった課題も多くあります。

藤原議員が提案されるように、公的施設へのシアタールーム設置は、地域住民の生活の質を向上させる可能性は十分秘めておりますが、課題も多く、設置には慎重な検討が必要だと考えます。藤原議員におかれましては、今後、娯楽だけではなく、学びや、地域コミュニティの構築といった観点にも注力して、シアタールームを設置するにあたっての課題を、どうすれば解決することができるのか、どうすれば夢物語ではなく、本当に実現することができるのか、地域のニーズを踏まえながら、これからも継続して探究活動を続けていってもらうことを期待して、答弁といたします。

○ 5 番（藤原来光君） 議長、5 番。

○ 議長（徳平珠一君） 藤原議員。

○ 5 番（藤原来光君） 以上で質問を終わります。

○ 議長（徳平珠一君） ここで議長交代のため、暫時休憩します。再開は10時45分とします。

午前10時33分 休憩

午前10時45分 再開

○ 議長（大隅 光君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長に就任しました、西脇工業高等学校の大隅光です。

不慣れではございますが、皆様方のご協力をいただき、円滑な議事運営に努めて参りますので、よろしくお願い致します。

9 番、山田那菜議員の発言を許可します。

○ 9 番（山田那菜君） 議長、9 番。

○ 議長（大隅 光君） 山田議員。

○ 9 番（山田那菜君） 西脇高等学校の山田那菜です。

ただいまから、近年の夏の気温の上昇による熱中症対策についてをテーマにして、一般質問を始めます。

私は、近年の気温の上昇による熱中症対策の1つとして、文林という本屋の前にある西脇工業前というバス停に屋根の設置を提案します。熱中症になる原因として挙げられるものが強い日差し、高温・多湿などがあります。気温が28度以上になると、すべての生活活動で熱中症になる危険性があるとされています。7月後半から8月の間では、多くの学生が部活終わりに1日の間で最も気温の高い、

午後2時や3時にバスを利用しています。西脇市の気温は30度を超えることが多く、ここ数日間では40度近い気温が記録されています。西脇工業前のバス停には屋根がなく、影がないため、気温の高い時間帯に直射日光を数十分浴びることになります。このような状況下では、熱中症になるリスクがとても高いです。バス停に屋根を設置し、影を作り、直射日光を避けることは、熱中症になるリスクの軽減につながると思います。また、屋根の設置によって、雨の日に傘を差す必要がなくなり、バスの利用がしやすくなると思います。

私は、子供や高齢者などのすべての人が安全にバスを利用するためにも、屋根の設置は必要だと考えています。

以上です。

○寺北建樹議員 議長。

○議長（大隅 光君） 寺北議員。

○寺北建樹議員 山田那菜議員の質問にお答えいたします。

近年は地球温暖化の影響か、異常ともいえる気温が全国で観測されています。西脇市においても、昨年8月13日には39.5度を観測しました。さらに今年の7月29日には39.7度と、そして30日には40.0度を記録し、県内の観測史上最高気温に並びました。また、連日、熱中症警戒アラートが発令され、注意喚起が行われています。息をするのさえも大変な状況の中で、午後3時前後に焼きついたアスファルトの上を歩くことは、想像するだけでも大変な状況にあると思います。

私は以前より神姫バスの停留所にベンチと屋根の設置が必要であると訴えたことがあります。山田議員から提起されている暑さ対策だけではなく、雨や雪の対策としてでした。私は西脇市の西部に位置する芳田地区に居住しています。農村地帯です。停留所が設置されている場所は、往々にして川のそばであったり、田んぼのそばであったりして、雨や雪の日には、傘を差していても、上半身までもが濡れている光景をしばしば見してきました。そのたびに、停留所に屋根があったら良いのになというのが、私の常に思っていたことでもあります。

そういった経験から、今回の山田議員の提案にはもろ手を挙げて賛成するものであります。多分、この問題を行政に提案すれば、営利企業である神姫バスが責任を持つべきであると答えるでしょう。私も基本的にそう思います。そこで先日、ウィング神姫西脇営業所を訪問し、このことについて要請しました。一言、自分たちの領域ではないということでもあります。

そこで市民の皆さんの幸せにつながるのであれば、行政が対応してもよいのではないかと考えます。若者とお年寄りに優しいまちを

実現するのであれば、税金を使うことに市民は反対しないと考えます。私の長年の課題であったバスの停留所に屋根の設置を、あわよくばベンチの設置もぜひとも実現したいと思います。

ちなみに、山田さんの居住されてる多可町では、令和元年度から順次取組が進んでいます。元年度には、日赤東バス停にベンチ2基が設置されました。2年度には、月ヶ花バス停に屋根が設置されております。3年度には、各路線のバス停整備に向けての現地調査が行われて、西脇直行バス、コミュニティバス町内6路線115か所のバス停のうち、28か所で屋根の整備が行われました。4年度には、八千代区の中村バス停、5年度には同じく八千代区の川上バス停、また加美区の西山バス停に屋根の整備が行われています。お隣の多可町で実現しているのですから、西脇市においてもぜひとも実現していきたい、そのように思います。若者の願いを積極的にくみ上げ、実行する西脇市でありたい、そのように考えるわけであります。私も皆さんと一緒に実現に向けて努力していきたいと思います。

以上です。

- 9 番（山田那菜君） 議長、9番。
- 議長（大隅光君） 山田議員。
- 9 番（山田那菜君） 以上で一般質問を終わります。
- 議長（大隅光君） 次は3番、徳平珠一議員の発言を許可します。
- 3 番（徳平珠一君） 議長、3番。
- 議長（大隅光君） 徳平議員。
- 3 番（徳平珠一君） 西脇北高等学校の徳平珠一です。

ただいまから、西脇市・多可町の交流人口の増加を目指してというテーマで一般質問を始めます。

西脇市・多可町は消滅可能性自治体に指定されています。私の祖母の実家が多可町加美区にあり、里帰りに行くたびに過疎化を感じています。このまま過疎化が進めば、近い将来本当に消滅してしまうかもしれません。西脇・多可に共通している課題点で、交流人口の少なさが上がると思います。交流人口を増やしていくために、市内や町内で行うイベントの企画や、SNSなどの活用を通して、西脇・多可の発信を行うべきだと考えています。

しかし現状として、西脇市はSNSを用いた発信力が少ないのではないかと感じています。市が運営しているインスタグラムのフォロワー数は3,000人程度で、これは多可町のフォロワー数の2分の1程度。リアル動画の再生数も1万回再生を超えるものが少なく、多くの人の目にはあまり届いていないのではないかと感じています。SNSの発信力を高め、交流人口を増やしていくために、播州織、百日どりなど地域ブランドを活用した商品PR動画を作成すること

を提案します。そのPR動画には、生産者の思いや制作過程などを載せ、ストーリー性を持たせることが重要だと考えています。また、幅広い発想を取り入れるために、市内・町内の中学生・高校生、西脇・多可に関心のある若い人たちに集まってもらい、意見を伺った上で提案などをしてもらう機会を設けてみてはどうでしょうか。

以上の2点を提案しますが、見解を伺います。

○藤原桂造議員 議長。

○議長（大隅 光君） 藤原桂造議員。

○藤原桂造議員 それでは、質問にお答えいたします。

今の世の中、ネット社会いわゆるこのソーシャル・ネットサービスは欠かせないという状況になっておりますが、私個人は大変溶け込んでいくのが苦手でして、日々苦労しております。

まず、我が市が取り組んでいるPR活動から述べていきたいと思いますが、幅広い世代において市政の情報、イベント情報、あらゆる地域資源に着目しながら、フェイスブック、インスタグラム、YouTubeを活用し、十分とは言えないところもありますが、我が市の魅力発見のため、こまめな情報発信に取り組んでいるところであります。ですから各高校生議員の皆さんも、ぜひとも市を盛り上げるためにフォロワーになっていただきたいと思います。

それではただいまから徳平議員の交流人口を増やすんだという、熱い思いが込められた質問でありましたので、これに関しても播州織などの地域ブランドを活用した商品のPR動画の作成、提案がありました。本市では例えば播州織の魅力発信という点においてはYouTubeにおいて西脇チェックの誕生、そして、オープンファクトリー、これもっぺんというタイトルがございます。それから播博と称して、播州織産地博覧会の映像などを制作し、発信しております。そこには制作過程というものは確かにございますが、議員が重要視されている生産者の思いを込めたストーリー性が足りないのではないかと、この部分に関して私も同感しているところがあり、その辺りをどういうふうに積極的に工夫し、発信するように努めるのか、これからも市の方にも提案していきたいと考えます。

そして徳平議員が特に重要視されているストーリー性でございますが、商品が人の手に渡るまでの、人と人との関係性、ここに物語を作り、一人一人がクローズアップすることが重要であると思っております。その商品過程を作った人に渡るところまでの笑顔の人がいるとか、こういったまちで一生懸命頑張っている人がいるとか、あるいはこの夢と希望を実現している人がいるなど、たくさんの物語を発掘することが1つのポイントと私は考えています。また播州

織の商品に限らず、商品の付加価値を高めるため、お店、人物、そして大切な地域資源を取り上げ、ブランドの演出により、まだまだ西脇に関わる人たちの物語で満ちているということを伝えるよう、共感する人も増えて、大変アバウトな答弁ではありますがこういったことが、交流人口のつながりになるのではないかと思います。

そしてもう1つの提案である、世代を超えることも大切であると思うんですが、特に若い人たちの意見をどんどん聞いていくという、これまで以上に市の魅力を発信するためには、こういった配信サービスの工夫がいいのか、ショート動画とかりール動画とか、フォロワー数をさらに増やすために創意工夫は必要不可欠かなと思っております。

具体的な案が少し薄いのでありますが、以上、こういった若者視点での機会創出に向けて、交流人口を増やすための発信方法、こういったことへのこれに対する答弁を終わります。

○3番（徳平珠一君） 議長、3番。

○議長（大隅光君） 徳平議員。

○3番（徳平珠一君） 以上で一般質問を終わります。

○議長（大隅光君） 次は13番、上山友鈴議員の発言を許可します。

○13番（上山友鈴君） 議長、13番。

○議長（大隅光君） 上山議員。

○13番（上山友鈴君） 西脇高等学校の上山友鈴です。

ただいまから一般質問を始めます。

私は、播州織を若者に広めるためにをテーマに一般質問を始めます。

西脇市の特産品といえば播州織ですが、私も含めて播州織に興味がないという若者が非常に多いです。若者だけではありません、一体どれだけの人が播州織に愛着を感じているのでしょうか。近年、播州織は玉木新雌さんのように全国的に売れてきているブランドもありますが、値段も高く、若者たちには知られていません。私たちは学校の制服が播州織になっているので毎日着ていますが、これは特に魅力を感じることはつながっていません。岡山県倉敷市のジーンズブランドのように、若者に普段使いの私服で着てみたいと思われることが、播州織の知名度を上げることにつながると思います。

ここで提案です。播州織の普段使いできる服のSNS発信やファッションショー・展示会を、西脇市が企画してみてもどうでしょうか。若者に着てみたいと思われるためには、豪華さや奇抜さよりも、普段使いできるイメージを発信すべきです。西脇高等学校の生活情報科は、播州織布地を使った服で、播州織博覧会や大阪関西万博でファッションショーをしていますが、これは普段着る服ではなく、

豪華さや奇抜さで観客を惹きつけています。このようなファッションショーとは別に、普段使いできる播州織の服のSNS発信やPRが大切だと考えています。ファッションショーと言えばモデルが黙ってかっこよく歩くイメージですが、そうではなく、大切なのは着やすさ、着心地のよさ、手入れのしやすさ、布地の特徴など、播州織の普段使いについてPRすることです。見るだけではわからない着心地や手入れのしやすさ、布地の特徴などを宣伝することで、他のものとの差別化や播州織を着てみたいと思うことにつながると思います。ですので、普段使いのよさをPRするイベントやSNS発信についての企画の検討を考えてみてはどうでしょうか。

以上です。

○吉井敏恭議員 議長。

○議長（大隅 光君） 吉井議員。

○吉井敏恭議員 上山友鈴議員の質問にお答えします。

先ほどの藤原桂造議員の答弁の中にも、播州織のPRに関するものがありましたが、200年以上の歴史と伝統を誇る播州織は、吸湿性と通気性のよさから、汗をかいても快適に過ごせるすばらしい織物でありながら、素材産地としての産業であったことから、播州織としての知名度が低く、議員のご指摘の通り、播州織に興味がないという若者が多いことは認めざるを得ません。

播州織の生き残りを図ろうと、地元企業では、生地二次製品化による高付加価値化、ブランド化、インターネットを始めとする情報インフラを活用しての取組がなされてきました。また、播州織の知名度を上げるため、播州織ショップの展開、播州織産地博覧会いわゆる播博の開催も今年で6回を数え、1万2,000人にご来場いただきました。開催中の大阪万博では、5月26日に世界中の人に播州織の魅力を広げたいと、西脇高校生活情報課による播州織ファッションショーが開催されました。議員が提案される取組とは異なりますが、播州織の知名度を上げる意味での成果があったものと考えています。

播州織の特性を生かしたストールなどが話題となりましたが、商品は高価格となり、議員が考えておられる普段使いとは異なる結果となっています。普段使いで言えば、西脇市では、播州織を身近に感じていただくため、令和6年度から市内中学校の制服シャツの1つに播州織を採用しています。この播州織シャツは、西脇高校生活情報課の皆さんが生地をデザインし、地元企業が地域内で一貫生産した生地を使用したもので、中学生の皆さんに明るい気持ちで学校生活を過ごしてほしいとの願いが込められた、メイドイン西脇のシャツであります。議員には不評ですが、西脇高校の播州織の制服に

も同じ願いが込められているものと思います。しかし、地域の願いと中学生・高校生の受け止めに大きな違いがあるのであれば、改善の工夫も考えられます。また、昨年、西田町に自社工場で一貫した生地を使って、シャツやワンピースと産地内のものづくりを発信する播州織コンセプトショップが誕生しました。若者に播州織への愛着をより身近に感じてもらえるきっかけとなるものと期待しています。

議員の提案される、西脇市が企画して播州織による普段使いのできる服の、SNSでの発信やファッションショー・展示会の開催は約束できるものではありませんが、西脇市としては、先ほど紹介しました縫製工場の誘致の支援、ものづくりステップアップ支援の事業、ふるさと納税の返礼品等を通じて播州織の知名度向上を支援しています。普段使いのできる服の開発については、その方向性も見出ししていただくよう、私の活動を通じて、播州織に関わる関係者に提案したいと考えています。

○13番（上山友鈴君） 議長、13番。

○議長（大隅 光君） 上山議員。

○13番（上山友鈴君） 以上で一般質問を終わります。

○議長（大隅 光君） 次は7番、田中海成議員の発言を許可します。

○7番（田中海成君） 議長、7番。

○議長（大隅 光君） 田中議員。

○7番（田中海成君） 西脇工業高等学校の田中海成です。

ただいまから、子供たちが自由に遊べる公園・グラウンドの確保について質問いたします。

私は昔から外で遊ぶのが好きでした。ですが、現在、昔と比べ外で遊ぶ子供の数が減っています。その原因としては、クラブ活動やグラウンドゴルフなどの団体利用により、子供たちが遊びたいときに遊べないという状況があるからだと感じます。特に子供の数が比較的多い野村町の野村公園や茜が丘グラウンドでは、そのような状況が多く見受けられました。実際、私も同じような経験をしたことがあります。正直なところ、私が小中学校時代の頃よりも状況は悪化しているように感じます。先ほども述べたように、野村町は子供の数が多いため、健康な体づくりやスポーツ人口増加のためにも新しい公園やグラウンドの建設が求められると考えます。野村町は土地に限りがあるので、池を埋め立てて作るなどの方法が考えられますが、このことについてお伺いいたします。

○藤原哲也議員 議長。

○議長（大隅 光君） 藤原哲也議員。

○藤原哲也議員 田中海成議員の質問にお答えいたします。

本市における公園とグラウンドの利用状況、特に野村公園や茜が丘グラウンドにおける子供たちの遊び場の確保に関するご意見、また、新たな公園・グラウンドの建設に関するご提案ありがとうございます。

まず、この暑い時期に野外での子供の元気に遊ぶ姿が減っているという点は、私も同じく重要な課題であると認識しております。ご指摘の既存の茜が丘グラウンドは、平日は県立西脇工業高等学校のサッカー部の練習場となり、土日は、クラブチームや団体利用によって利用されています。野村公園・野村グラウンドの広場も、グラウンドゴルフやクラブチーム等、利用されている状況です。子供たちが自由に遊びたいときに遊べるスペースは、なかよし広場、茜が丘公園、みらいえの芝生スペースにある遊具、充実はしているところでございます。

しかしながら、ご指摘の野村町は子供の数が比較的多い地域でもあり、子供たちが安心して思い切って遊べる場所の確保が特に重要であるご指摘について、田中議員のおっしゃる通りだと思います。しかしながら、市町村ごとの人口1人当たりの都市公園面積では、本市は約14平方メートルと、兵庫県では10番目にランクインしているところでございます。

今回ご提案いただきました、野村大池を埋め立て、公園グラウンドの建設のご提案ですが、ため池は近隣の農地約17ヘクタールの貴重な水源となっております。ため池の埋め立ては農地、環境、防災の観点からも困難と考えております。

今後、既存の施設を最大限に活用し、子供たちが安心して楽しく遊べる場所を確保できるよう、これからも努めて参ります。

○7番（田中海成君） 議長、7番。

○議長（大隅 光君） 田中議員。

○7番（田中海成君） ありがとうございます。以上で一般質問を終わります。

○議長（大隅 光君） 次は10番、中澤帆乃美議員の発言を許可します。

○10番（中澤帆乃美君） 議長、10番。

○議長（大隅 光君） 中澤議員。

○10番（中澤帆乃美君） 西脇高等学校の中澤帆乃美です。

ただいまから、西脇市の企業をPRコンテストでバズらせて盛り上げよう！をテーマに一般質問を始めます。

私は、西脇市をより豊かにするための取組について提案します。まず、西脇市で生活していて、場所によって道の整備がされていなかったり、加古川線の廃止のことだったり、いろいろな問題を目

にしたり聞いたりします。そこで、私はなぜそのような問題が起こっているのかを考えたところ、経済的な問題、人口の減少、過疎化などが原因で起こっているのではないかという考えに至りました。そこで、これらの原因を解決するために、西脇市の企業を発展させるのが一番効果があると考えました。私が調べたところ、西脇市にはがまかつや東播染工、o z a w a、玉木新雌などのたくさんの企業があります。西脇市は企業を盛り上げるためのP R活動などはされていますか。

○高瀬弘行議員 議長。

○議長（大隅 光君） 高瀬弘行議員。

○高瀬弘行議員 中澤帆乃美議員のご質問にお答えします。

最初に、行政は公共性・中立性などの立場から、特定の企業や団体に対する支援を行う場合には、慎重な対応が求められます。一方、中澤議員が調査されたような織物産業や釣針産業は、西脇市を代表する地場産業であり、行政として支援を検討することは十分に可能と考えます。

そこで、先ほどのご質問にお答えしますと、市として地場産業支援策の代表例としては西脇ファッション都市構想がありましたが、ご質問にあるP R活動に限定すると、現状では、毎年10月に開催される播州織フェアや、西脇市観光物産協会が運営するホームページなどが、地場産業の主な情報発信の場になっていると思います。また、最近では来場者が1万人を超える播州織博覧会、いわゆる播博も、広い意味では地場産業の魅力発信として成果を上げており、P R活動の一環として捉えることもできると考えると思います。

以上です。

○10番（中澤帆乃美君） 議長、10番。

○議長（大隅 光君） 中澤議員。

○10番（中澤帆乃美君） 先ほどの答弁を聞いていますと、西脇市は地場産業を盛り上げるためのP R活動は、まだまだ不足していると考えます。

そこで、私はSNSを使ったP R動画コンテストを提案します。

参加は子供から大人まで誰でもできるようにし、30秒から1分のP R動画を作ってもらいます。それを募集し市民全員投票してもらい、1位には黒田庄和牛1頭、2位には1日市長体験、3位には山田錦米1年分、参加者には播州織で作った缶バッチを賞品として用意します。動画を通じることで、企業の魅力を伝えやすくなり、多くの人に興味を持ってもらえます。また、主催者側は企業から資金を援助してもらうことで、資金調達が楽になり、出費を減らすことができ、企業側もP R効果が高まり認知度アップが期待できるとい

ったメリットがあります。

この提案について考えをお聞かせください。

- 高瀬弘行議員 議長。
- 議長（大隅 光君） 高瀬弘行議員。
- 高瀬弘行議員 再質問にお答えします。

ホームページによるPR活動に比べ、SNSを活用したPR活動は、双方向性あるいはリアルタイム性、そして何よりも情報の拡散性といった点で圧倒的な優位性があり、地場産業の魅力を効果的に伝えるための手段になり得ると思います。さらにPR動画を市民参加型のコンテスト形式とし、賞品として黒田庄和牛1頭、1日市長体験、山田錦米1年分など提供するという提案は、非常にユニークで魅力的なアイデアであると思います。しかしながら最大の課題は、応募者の確保と、豪華賞品に見合う質の高いPR動画が集まるかどうか、ここが最大のポイントだと思います。

次の課題が賞品の提供ですが、1日市長はきっと片山市長も賛同を得られると思いますし、また山田錦米1年分、つまり約60キロなんですけれども、関係企業から協力が得られると思います。しかし、黒田庄和牛1頭の提供については私が調査したところ、平均的な落札価格が150万とか200万とされており、通常の方法では、協賛企業からの支援を得るのは難しいかもしれません。しかしコンテストの盛り上がりや、クラウドファンディングの活用により解決することは可能かと考えます。加えて、中澤議員の今回の提案は、少子化や経済の停滞といった地域の課題を背景に、地場産業という地域の魅力に着目し、その活性化を通じて西脇市を元気にしたいという、思いが込められています。

そこで結論として、中澤議員の発案については、これまでにない新しい発想であり、地場産業や地域の活性化に寄与する可能性を十分に秘めており、先ほどの課題を踏まえた上で、西脇市や西脇商工会議所などの関係機関に、本提案の実現に向けた働きかけを行って参りたいと思います。

最後に、今後も様々な機会を通じて、中澤議員をはじめ、若い世代の皆様が西脇市に愛着を持ち、ともに元気なまちづくりを進めていただけることを期待して、私から中澤議員への答弁といたします。

以上です。

- 10番（中澤帆乃美君） 議長、10番。
- 議長（大隅 光君） 中澤議員。
- 10番（中澤帆乃美君） 以上で一般質問を終わります。
- 議長（大隅 光君） 次は4番、水谷佳椅斗議員の発言を許可します。

○ 4 番（水谷佳椅斗君） 議長、4 番。

○ 議長（大隅 光君） 水谷議員。

○ 4 番（水谷佳椅斗君） 西脇工業高等学校の水谷佳椅斗です。

ただいまから一般質問を始めます。

加古川までの交通インフラの整備について一般質問をします。

私は神戸などに遊びに行くときに、よく JR 加古川線を使います。

他にも西脇市から加古川市までの JR 加古川線は、通学や通勤など、地域交流に重要な役割を果たす交通手段です。しかし近年、利用者減少により減便や路線維持の課題が浮き彫りとなっています。こうした現状を踏まえ、交通の利便性向上や新たな交通手段の導入について、考えをお聞きしたいと思います。

西脇市と加古川市を結ぶ公共交通の利便性を高めるために、市として現在どのような取組を行っているのか、または今後の具体的な改善計画や検討事項があれば教えてください。

○ 坂部武美議員 議長。

○ 議長（大隅 光君） 坂部議員。

○ 坂部武美議員 本日 15 人の最後の高校生議会の質問ということで、トリをとっていただいた水谷議員の質問にお答えしたいと思います。

まず 1 つ目に、西脇市と加古川市を結ぶ公共交通の利便性向上にどのように取り組んでいるのかというような質問だと思うんですけど、公共交通となれば電車とバスが考えられますけれど、西脇市駅、それから谷川駅間につきましては、先ほどの小林議員の質問で答えておりますので省略させていただきます。では西脇市から加古川や神戸方面、通勤・通学する場合の補助なんですけど、今年度からパークアンドライド促進事業補助として、自動車を駅やバス停周辺に駐車、パークしてですね、公共交通機関を利用、ライドですね、で通勤・通学する場合、月極駐車場料金の半額、上限 5,000 円を補助する事業を始めました。現在 3 件、少ないんですけど 3 件の申し込みがあります。今、行政として実施している、主に加古川方面や神戸方面などへの支援策補助はこれだけです。

もう 1 つ、今後の具体的な改善計画、検討事項はあるのかという質問だったと思うんですけど、例えば加古川までのバスの便を開設するとか、列車の本数を増やすとかとの計画は、現在のところ、JR やバス会社も考えておりません。もちろん行政も考えていないようです。行政はですね、まずは赤字ローカル線として廃止の対象となっている西脇市駅から谷川駅間の利用促進を第 1 としております。なぜなら、西脇市駅から谷川駅間の利用者数、令和 5 年度で 1 日 275 人、最近出ましたんですけど令和 6 年度は 293 人と、兵庫県内で最も低いからですね。一方、加古川から西脇市駅間は令和 5

年度で1日3,800人の乗車がありますので、わざわざ補助してまで乗車人数を増やす必要がないと考えているかもしれません。

現状と今後の課題計画は、今申し上げたとおりです。

以上です。

○4番（水谷佳椅斗君） 議長、4番。

○議長（大隅光君） 水谷議員。

○4番（水谷佳椅斗君） 現状はわかりましたが、同じ高校生として西脇市駅から谷川駅間を利用する生徒には定期券補助や自転車の貸出などがあるのに、なぜ西脇市駅から南へ通学する生徒には支援がないのか、同じ西脇市に住む高校生として、たまたま学校までの通学ルートが違うだけです。西脇市から加古川方面へ通学する生徒への支援は考えられませんか。

○坂部武美議員 議長。

○議長（大隅光君） 坂部議員。

○坂部武美議員 同じ高校生なのに、なぜ西脇市駅・谷川駅間は様々な補助があるのに、西脇市駅から加古川駅間はないのかという質問だと思っんですけれど、高校生にとって、小学校・中学校一緒なんですけど、北から来ようが、北へ行こうか、また西脇市駅から南へ行こうが、南から来られようが、西脇市へ通学している、また西脇市から市外へ通学するのは、公共交通を利用して、言うたら通学支援といえると思っんですね。それを考えた場合に西脇市駅・谷川駅間だけを補助してるのは、納得できないかもわかりません。要は利用するルートが違うだけですからね、上と下だけで。

加古川線の利用促進という観点ではなく、公共交通を利用した通学補助というのを考えた場合、通学補助を行ってる自治体は多くあります。神戸市は、市内高校への通学定期代を全額補助してますし、淡路市は高校生以上の通学者助成事業、南あわじ市は通勤・通学の高速バスですね、と交通費の一部補助、丹波市、路線バス通学定期券補助などが、多くの自治体が通学補助ですね、いうのを実施しています。ただし、もし実施するとなると、まずは西脇市民が対象となるかもしれませんが、先ほど水谷議員が言われたように、電車やバスの公共交通を使用した通学補助をどのように考えていくのか、小学校・中学校・高校生、市外行っている方いらっしゃいますので、それは私としても通学補助の問題は行政に投げかけていきたいと思っってます。

以上です。

○4番（水谷佳椅斗君） 議長、4番。

○議長（大隅光君） 水谷議員。

○4番（水谷佳椅斗君） 以上で一般質問を終わります。

○議長（大隅 光君） これをもちまして、一般質問を終わります。
以上で本日の日程はすべて終了しました。

閉会に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

私たち高校生が自分たちのまちや未来について真剣に考え、意見を述べる機会をいただけたことに感謝しています。市議会議員の皆様が私たちの声に耳を傾けてくださったことは、大きな励みとなりました。この経験を今後の学びや行動につなげていけるよう、これからも地域の一員として関わっていきたいと思っています。

高校生議会議員の皆さん、高瀬洋市議会議長をはじめ、市議会議員の皆さん、ありがとうございました。

次に講評を兼ね、吉井敏恭市議会副議長からご挨拶があります。

○副議長（吉井敏恭君） 議長。

○議長（大隅 光君） 吉井副議長。

○副議長（吉井敏恭君） 高校生議員の皆さん、2回のワークショップ、昨日のリハーサルに続く本会議と、大変ご苦労さまでした。高校生としての視点で行政の課題に取り組んでいただき、堂々と一般質問されましたことに大変感心しております。

私からは、孫と同年代の皆さんが日頃感じられておられる行政への課題と一緒に取り組めたことは、大変有意義でありました。この後予定されております、コメント撮りで皆様のどのような感想が聞かれるか楽しみにしております。私たち市議会議員も今後の議員活動に生かしていきたいと思っております。これを契機に今まで以上に行政や議会の動きに関心を持っていただき、行政や地域の取組に積極的に参加や協力をしてくださるようお願いいたします。

西脇市議会では、公式の会議のすべてをインターネットで配信して、公開しております。また、年4回発行する議会だよりにもぜひ目を留めていただくようお願いいたします。

また何かありましたら、気軽に声をかけていただきたいと思います。

結びにあたり、高校生議会の開催にあたり、ご協力をいただきました学校関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。また、傍聴に足を運んでいただきました皆様にも感謝を申し上げます。

これをもちまして講評とさせていただきます。

本日は本当にありがとうございました。

○議長（大隅 光君） 副議長のご挨拶は終わりました。

これをもちまして、令和7年度西脇市高校生議会を閉会します。
皆さん、お疲れ様でした。

午前11時32分 閉会

上、地方自治法第 123条第 2 項の規定に準じ、次に署名する。

令和 7 年 8 月 8 日

西脇市高校生議会議長	中	川	隆	来
西脇市高校生議会議長	徳	平	珠	一
西脇市高校生議会議長	大	隅		光
西脇市高校生議会議員	廣	瀬	梨	琴
西脇市高校生議会議員	田	中	海	成
西脇市高校生議会議員	上	田	陽	雅